



場 順一
所 任 深
行 任 深
発 資 順
岡 垣 長

岡垣町長期総合計画 基本構想議決

岡垣町長 深 田 順 一

このたび本町将来の町勢振興指針である基本構想が議会の議決を得てここに公表できますことは、偏に町民の皆様、暖かい御配慮と御支援の賜と深く感謝致しております。

町長就任以来総合計画(マスタープラン)の必要性を感じ企画振興課を新設し計画行政の確立に努力してまいりましたが、このたび岡垣町の将来発展の礎が築かれたことを心から喜びとするものでございます。

今後本町の行政は、この基本構想に基づき進めて行きますが、容易に実現できるものではありません。町と町民の皆様と表裏一体となり実現に向けて邁進すれば必ず到達できるものと確信します。

この計画の大綱は、
※自然と人の有機的調和による地域開発

※道路と土地

の連帯による産業振興とこの二つの基本に基づき

土地利用計画、水利利用計画、道路交通計画、産業振興計画、社会開発計画、行財政近代化計画とから構成されておりま

す。
○土地利用計画は、本町を市街地農地、自然保護地に分けておりま

す。
市街地については、住居、商業

全町給水を用途に第三次拡張に着手する。
○道路、交通計画は国道3号線を



準工業地区等に分離し、街路公園、下水道等を整備し健康で文化的な都市作りに努力する。農地については、農業振興地域を設定し、農道、水路、ほ場整備等に努力し、生産性の高い農業地区を形成する。
自然保護地については、本町の自然景観の秀れた地区のスプロール化を防止すると共に、岡垣住民の方のもとより広く福岡市北九州市民の休養地とする。

はじめ、主幹道路の県道、町道の整備及び新設に努力する。
○産業振興計画は、本町の基幹産業である農業をはじめ水産業、商業の振興を図るために、流通センター、漁港拡張、新商業地区の整備に努力する。
○社会開発計画は、学校、保育所、町営住宅、国民宿舎、老人ホーム等住民生活向上に伴ない老人ホーム社会福祉施設の整備拡張が要請されているため、早急に解決するように努力する。

行政近代化計画は、最近における行政事務の複雑化に対処するため、事務の合理化、簡素化に努力する。
財政合理化計画は、大幅な地方債制度の利用、税源の適確な把握、国県の施策制度による補助の利用、財政構造の健全化により経常経費の節減に努力する。
とおおまかに計画概要を述べました。
最後に計画策定にあたって、万事に御指導、御援助をいただいた策定審議会委員及び町議会議員の皆さんならびに、いろいろと御尽力を願った関係機関や町民の皆さんに対し、深く感謝の意を表しますと共に、今後とも絶大な御指導御援助をこころからお願ひ致します。

青年は訴える

三月四日手野の公民館を借り、九時半から午後五時まで青年大公会を開く。午前中話し合い、午後演芸発表。
最初各支部の活動状況を発表したが、

糖塚——公民館のスポーツ行事については、区から青年団にまかされており荷は重い、区の人々の関心も強く、又青年団の先輩OBもしっかり応援してくれるので、区、OB、青年団はしっかり行っている。

話し合いをしても、みんな自分達の青年団だという気持があり、楽しいし、県の研修会以上に効果もあがっている。今後は月に二、三回は寄り、尚一層頑張り、「自分も青年団にかけてくれ」といわれるくらいの青年団になろうと張り切っている。

高倉——盆踊りや宮日の余興等も青年団でしているが、これは区からいわれおしつけられてやっているのではなく、青年団で話し合い、まとめ、自分達で主体的にやっている。だから計画、練習、反省と話し合いの場が出来、それが即ち大きな学習になっている。

その他話し合いもしているが、区と青年団の間にはいくらかの考えのずれがあるので、機会あるごとに区や大人と話し合う必要がある。

吉木——青年団の目的は青年の生活を高めようということであるが、区は青年団に昔から行事をおしつけようとする。それでは利用される青年団になってしまう。青年は自主的に考え、相撲、卓球等を通じ青年相互の団結、精神・体力の向上をめざしている。又盆踊りもしているが、区との意見の違いがあるため青年の団結がくずれ、青年団本来の目的からはずれてしまふのではないかと反発することがある。

又集合の場所について、毎回個人の家では気おくれ気がねをし、じ

っくり話し合いも出来ないのでは公民館は是非必要である。

それとみんな一様に強調していることは、今の青年をよく知って頂きたい。大人は「青年団は酒飲みのおだから入らんでよい」という。が実際そうだろうか。今の青年団は今の年寄の青年時代の青年等とは違ふ。男女の青年が公民館等に集り話し合う。みんな自分を持っている考えを出しあう。みんな一緒に考えあう。その過程で自己中心的な考えから協調性が出て来、他人のことも考えるようになる。政治等への関心も出来、人間関係のあり方、見方にも変化が起り、人間は上達向上し、成長しておることを大人は知っていないのではないか。青年団など今の時代に古くさい。青年団なんかはいら

ないと考えていないだろうか。

「若い女の子が夜おそくまで歩いているなどもってのほか」と大人はせめる。女は勉強せんでよい。ただ嫁に行ったら何でもハイとときくのが一番立派であるし幸福と考えているかの如くに。戒いは若い娘に虫がつくとでも考えているのだろうか。

大人は今の青年団をよく知って頂きたい。青年はみんな働いているので集会は夜でないし出来ないが、夜寄っても一生懸命話し合っているし、帰りは車で送り届けている。生花等をならうよりも、もっと大

切な人生勉強をしているのである。参考まで青年団の目的を述べると、戦前までの青年団活動の目標の多くは「修養と地域社会のための奉

遠賀郡消防組合発足

四月一日救急業務も併せ行なう

永い念願の郡消防組合が四月一日から発足し従来の非常消防と併せて消防力が飛躍的に強化されることになりました。当分の間、現在の水巻消防署を遠賀郡消防本部とし水巻町、芦屋町、遠賀町、岡垣町四箇町の消防事務を協同処理することになりました。今年十月頃迄には本部及び消防自動車等も新設し職員も増員して機動力を充実

仕活動」におかれていた。現在の青年団の目的は「青年の生活を高め、よりよいものにしていく」である。

印鑑証明の発行方法が変わります

印鑑証明書は従来、不動産の登記ぐらゐにしか必要ありませんでしたが、現在では借入金や住宅の賃貸契約にまで要求されるようになりまし

このような状況から発行数は年々増加し、窓口における待ち時間が長くなるなど、サービスの面で弊害がおきています。そのうえ、印鑑と登録票の印影が同一のものであるかを判定するには、職員の内眼鑑定によるしか方法がなく、

転入転出をされる方へ

行政事務の徹底を計るため、町内外へ転入、転出される場合は、必ず区長へ届出て証明をもらって後に役場住民課で手続きされますよう、特に一般住民の方の御協力をお願いいたします。

- ①岡垣町に來られたら、先ず区長宅に行き、証明をもらって役場へ転入手続きすること。
- ②町外及び町内でも移動(転出、転入)の場合は区長の証明が必ず要
- ③東松原、高岡などのように、ほとんど転入されているところは転入者に附近の人が、先ず区長さんのところへ行くよう話してやって下さい。

『保険税の二重払い』

給与所得者で社会保険料を毎月天引されながら、本人が手続きを怠っているため家族が社会保険に加入できず、町の国民健康保険に加入されている方が相当数おられます。

こういう方は社会保険料と国民健康保険税を二重に支払っておられる方です。云いかえると不要な国民健康保険税を支払っているということになります。

所定の手続きをとっても事業所が認定しないとき、又は手続きに關してわからない所があれば役場関係に連絡して下さい。

労災保険更新

昭和四十六年度労災保険更新手続きを左記のとおりしなければなりません。

記

報告書提出期限 五月十五日迄

提出先 所轄労働基準監督署

銀行、郵便局に保険料を添えて提出すること

提出(納付)期限を過ぎると不利益な取扱いを受けることがありますので期限は厳守のこと。

詳細については八幡労働監督署に御照会下さい。

所在地 八幡区尾倉町二丁目

電話 六七、六一三六

福岡労働基準局

密航者に注意

住民の皆さんの御協力により、

昭和四十五年十二月三十一日迄暫

那智屋町柏原漁港において、日本

漁船を利用した密航者十六名を検

挙することが出来ました。

これは皆さんが「おかしいな」

と思われたことから発見したもので、厚くお礼申し上げます。最近

日本海沿岸を中心に県内各地にお

いても、密航事件が続発していま

す。次のことを見たり、聞いたり

したらお知らせ下さい。

○見なれないものが、海岸付近を

うろついたり、たづねたりして

「おかしいな」と思われたとき

○飲食店、タバコ店、旅館などの

お客で言葉使い、身なりなどが

「おかしいな」と思われたとき

○朝早く、あるいは夜おそく、み

なれない者が、タクシーを呼ん

だり、汽車、電車、バスの待合

所などに、ひそんで服装や態度

から「おかしいな」と思われた

とき。

○見なれない船が、島かげにとま

つていたり、人を上陸させたり

沖にはこんだりして「おかしい

な」と思われたとき。

折尾警察署

波津、柏原密航監視哨

農集電話料の支払い

記

昭和四十六年四月分から、農集

電話料金の支払が左記の票のよう

に変更になりました。なお銀行な

どへ預金口座をお持ちの方は自動

払いの方法があります。申込みは

銀行、信用金庫、農協等へ、御相

談下さい。

左記 折尾電報電話局

科金月	電話使用料(基本額)	市外電報料	お支払い期日	備考
5	4月1日～5月31日	3月11日～5月10日	6月10日	4～5月分
7	6月1日～7月31日	5月11日～7月10日	8月10日	6～7月分
9	8月1日～9月30日	7月11日～9月10日	10月10日	8～9月分
11	10月1日～11月30日	9月11日～11月10日	12月10日	10～11月分
1	12月1日～1月31日	11月11日～1月10日	2月10日	12～1月分
3	2月1日～3月31日	1月11日～3月10日	4月10日	2～3月分

2ヶ月に1回の払込みです

受験案内

海上保安学校普通科学生試験

1、受付期間 自五月六日

至五月二十八日

2、試験日 第一時 六月十三日

第二時 七月三十日

3、受験資格

◎昭和二十二年四月二日以降生れ

の男子

◎高校卒、高専卒、大学入学資格

検定に合格した者

◎給与

在学中 二八、一〇〇円

卒業後六ヶ月後三二、八〇〇円

採用一年後 三三、一〇〇円

◎試験地 北九州

4、その他詳細は役場公民館へお

問合せ下さい。

求人申込

雑役夫 男二名 女四名

日給 男一三〇〇円 女九〇〇円

中卒以上五十五才迄健康な人

住所 速賀郡岡垣町戸切三四四

名称 菅屋町更生企業組合

社会福祉協議会へ

協議会へ

香典返しとして御寄附ありがとう
ございます。

上畑区 故石橋 衛殿70才

昭和46、2、19 死亡
石橋芳一殿より寄附

三吉区 故藤村 尖殿24才

昭和46、3、3 死亡

藤村保次殿より寄附

戸切目谷区 故住田コセキ殿72才

昭和46、3、12 死亡

阿部重平殿より寄附

波津区 故宮内テル殿86才

昭和46、3、21 死亡

宮内一男殿より寄附

戸切区 故花田節子殿46才

昭和46、4、5 死亡

花田 実殿より寄附

老人クラブ寿会へ

戸切目谷区 故住田コセキ殿72才

阿部重平殿より寄附

三吉区 故三井藤太郎殿86才

昭和46、2、4 死亡

三井太郎殿より寄附



議会だより

第一回定例会は三月十一日招集
会期は十七日と決定、次の議案が
原案可決される。

1、昭和四五年年度岡垣町一般会計

補正予算(案) 第5号

2、昭和四五年年度岡垣町国民健康

保険事業特別会計補正予算(案)

(案) 第2号

3、昭和四五年年度岡垣町農業共済

事業特別会計補正予算(案) 第

2号

- 4、昭和四五年年度岡垣町水道事業会計補正予算(案)第2号
- 5、昭和四六年年度岡垣町一般会計予算(案)
- 6、昭和四六年年度岡垣町国民健康保険特別会計予算(案)
- 7、昭和四六年年度岡垣町農業共済事業特別会計予算(案)
- 8、昭和四六年年度岡垣町水道事業会計予算(案)
- 9、岡垣町特別職の職員で非償に關する条例の一部を改正する条例(案)
- 11、岡垣町消防団員の定員任用、給与、分限及び懲戒服務等に關する条例の一部を改正する条例(案)
- 12、訴訟の提起について
- 13、訴訟の提起について
- 14、岡垣町敬老年金条例(案)
- 15、岡垣町印鑑登録の全部を改正する条例(案)
- 16、岡垣町営住宅管理条例の一部を改正する条例(案)
- 17、遠賀郡消防組合の設立について
- 18、岡垣町の基本構想の設定について
- 19、土地改良事業の施行について
- 20、岡垣町道路線の認定について
- 21、岡垣町道路敷用地としての寄附採納について
- 22、指定金融機関の設置について
- 23、遠賀郡消防組合議員の選任について
- 24、昭和四六年の行政事務を区長

に委嘱することの報告
 25、昭和四五年年度民生安定法に基づく山田海老津線舗装工事の請負契約についての報告
 26、一般職の職員の給与に關する条例施行規則の一部を改正する報告

短歌

高陽岡地 前田 四郎
 造成の山より掘りて来しナナミ
 枯れず茂るを祈りつゝ植ゆ
 造成に崩されてゆく青き山
 日々の朝夕借しみつゝ見る
 青き山青き野原の今は無く
 ヒバリ古果を恋ひ来て鳴けり

俳句

高陽岡地 前田 四郎
 春たけなわ岡地の造園そこゝに
 咲くつぼみ確かめ植えし桜なり
 春の山日々造成に生きかえる
 造成の近づきつばき炎え咲けり
 造成地古果さがして鳴くヒバリ
 高陽岡地 村田中泉子
 山茶花の蜜吸う小鳥吾れを見て
 波津の浜辺
 青い瞳の肩負寄風でシャッタ切る
 春の湖破船舳先きを変ゆるなし
 啓敷の夜の艇綱濡れ交わす

岡垣町からシロアリを追放しよう

住宅の寿命をのばす。
 住宅の寿命は常識的に三〇年位だと言われているが、一〇〇年経ってもピクともしないものもあれば、新築三、四年で危険な状態になった話も聞く。これは敷地の環境条件や使用材料、施工技術など

住宅の寿命をのばす。
 ○シロアリは住宅のガン。
 住宅には湿気が禁物である、雨仕舞や通風の悪い建物は先ず腐蝕菌にやられる、そしてシロアリはこんなところを好んで侵入し、どんどん繁殖し蝕害する。



に原因することが多いが、それにもまして、居住者の家に対する愛情不足が、耐用年数を縮める重大な誘因になっているとも言える。
 最近では住宅も、テレビや自動車なみに、耐久消費財的な考え方が強くなってきてはいるが、それにしては莫大な投資で建てた大切な財産だから、維持管理に細心の注意を配り出来るだけ永保ちさせたいものである。

住宅には湿気が禁物である、雨仕舞や通風の悪い建物は先ず腐蝕菌にやられる、そしてシロアリはこんなところを好んで侵入し、どんどん繁殖し蝕害する。

を出した例や、新築二年そこらで梁までやられた話、現在改修工事中の重要文化財宗像大社は、虫よけと言われる楠材の丸柱を使ってあるが、柱の中味は殆んど噴き荒されて空洞になっており、解体中の被蝕の梁に大きな果が露見されている。これらはいづれもイエシロアリの恐るべき仕業である。
 シロアリの寄せつけけないことが住宅を永保ちさせる秘訣である。
 ○予防が第一、
 建設当局も蟻害の猛威を重視して、新築家屋の予防措置をとりあげて国会に提出し、建築基準法の一部を追加改正、都道府県に対して地方の実状に即した防蟻措置条例を制定施行するよう通牒したが未だ建設関係をはじめ一般の方々のシロアリに対する認識は低調でシロアリは猛威をほしいままにしているのが現状である。
 シロアリの恐しさを予測すれば建築総費用の二割程度の予防工事費をおしむ者はあるまいと思はれる。シロアリの侵入を防ぐには、建築構造上の問題点と、薬剤による侵入遮断とがあるが、前者は建築業者の良心にまっとうしても、後者については専門の防除施工士にまかせることが最善の策である。
 従来のシロアリ防除施工は、使用薬剤や工法に一長一短があり疑念がないでもなかったが、日本しるあり対策協会が設立されて以来使用薬剤の認定、標準工法の徹底

によって一段と技術も向上し統一され、敷地全体の土壌処理と木部処理の併用によって家屋全体を薬剤で包囲し、シロアリを絶対に寄せつけない完全工法が行われている。

被害を受けてからでは手遅れである。被害部材の取替えなどの修理経費よりはるかに安い予防工事は、新築にかかせない絶体条件であらう。

○早期発見、完全防除、

いったんシロアリに侵入されると急速に被害が進行して行くが外見上は特別な徴候を認められないシロアリは見えないところで休みなく喰害を続けるやっかいな害虫で、素人では発見がむづかしい。四月中旬頃から八月にかけて羽蟻の大軍がぞろぞろはい出し飛立って行く、これはシロアリの婚姻飛翔と言ひ、雌雄一対となって新しく果作りをし繁殖する活動であるハネアリの飛立った家には、既に三、五年前からシロアリが侵入している證據で、被害も可成り進行していると思つて間違いない。なるべく早く信頼のおける専門業者に診断を依頼し、結果によって早急に喰害の進行を喰いとめる工事を行わなければならない。診断は無料でやってくれる。

駆除の工事は、活動中のシロアリを全滅させ更に再度の侵入を防ぐ駆除と予防の工事を同時に行うものである。

シロアリの防除業者は随分多いが、中でも医薬品メーカーの三共が最近では特に話題にのぼっているようだ。適格な薬剤と進んだ技術、真面目な施工をするのとこととで、先ず信頼のおける業者である。シロアリについての相談は問司薬局と町役場住民課が扱っているので遠慮なくお出下さい。

町ぐるみでイエシロアリ多発地

随 想

三分間の冒険

春 宵 散 話

今年の成人祭の前日、その開催の主務者に電話で問い合わせた処、祝辞は述べてもらうことになっているが、寒さも手伝って餘り好まない様子も見えるので、町長、議長に次いで、三人にとゞめ、しかも一人三分間以内という事になっている、との事であった。その事について数語やりとりはしたが結局はそれに随う事を約して電話を切った。併しこうなれば、短い時間内に何を語りかけ、この世代の成人祭を迎える方々に、何事を要求しようかとの主題を考えて見た。私の心に決めたものは、今の教育なり、人間形成への過程の中で「自学」の精神の涵養が一番必要ではないかと思われた。

幼児教育から小学校時代に、先生から教わる、教えてもらうという受動的ではなく、積極的に自ら学び

帯の不名誉を返上しよう。そして岡垣町をシロアリ防除モデル地区として名誉を回復しよう。

シロアリを防除すると、あのいやらしい不潔なゴキブリも同時に退散する。快適な家庭生活、明るい町づくりのために、シロアリは勿論一切の害虫を岡垣町から追放しよう。

とるといふ精神が、その頃からしっかり確立されておれば、宿題が出るから、テストがあるからではなく、餘り苦にしないで自分から勉強が出来るのではないか。世間でよくいうあの子は頭がいい、からとか、あちらは餘り頭がよくないようだとかいわれるが、元來頭がよいとか悪いとかいう事は、何処を指し、何をとらえ、どの尺度でいうのか、私は自学の精神の強弱によって5、4、3が分れて来るのではないかとさえ思つておる、頭の上しあし等とは口にせぬ方がいいのではないか。

私が成人祭の当日岡垣中学校の講堂で、之からのあなた方に必要な事は自ら学びとるといふ精神を以て、読書は絶対必要であり、レジャーの中にも、近距離にある先輩の生家等を訪れて、その方々の幼い頃からの勉強ぶり、自学の精神

に燃えていた森嶋外、西周、福沢諭吉、北原白秋、若山牧水等々の勉強されたその土蔵、その堂に座ってそれを忍び、それを自分のものにする事が大切であるうと、自学の精神涵養に結びつけて話したかったのだが、話して居る中にあれもいいたい、これも語りかけたと思う事が次々と浮んで来て、本当に木に竹を接ぎ、瓜の蔓に茄子をならせたい様な、全く変なことになってしまつて、話題も話術もそれこそ私自身に自学の精神が欠けていたばかりにその極みだけが残つて、成人の皆さんには誠に相済み事だつたと今でも訛り続けている始末で、三分間では、私の知能では到底感銘を残す様な話の出来ない事をまざまざと覚つたとんでもない冒険を敢てしたものだと思ふ。

無 言 闘 争

一日の業を終えて、仰向に床につくと、必ず書、と墨絵の四面の額が目には入つて来る。どちらも高齡で天寿を全うされた高倉出身の菟田茂丸先生から賜つた「養正と真善美」の二面の書と、絵は黒山出身の岩崎天外先生の墨絵の左梅で、賛に「得楽苦発清香」とあり、もう一つは誠に爽やかな竹の絵で「窓下有清風」との賛がある。兩人とも自学を完成された尊敬すべき人として幾度となく高倉の一両荘（一字荘）を訪れ、芦屋の天

外先生のお話を聞きに画室に座つた。菟田先生からは、楓原神宮から伊勢神宮に仕え、又楓原神宮に遷られ、その間に神への奉仕以外に造営事業の予算關係で大蔵省と渡り合う日、斎戒沐浴神の御託宜を戴き、之に臨まれた真剣な御心情、最も御得意とされた蘭の墨絵の色紙に必ずされた賛の「蘭香四時人壽百歳」の臨明、今はもう無言でも、色々の教訓は私の心に残つて忘れる事はない。

私はここまで書いて、之と全く正反対な無言闘争と云ふ言葉がふと浮んで来た。無言闘争の後に何が残るであろうか、双方口を噤んでしまつては意志の疏通を欠ぐところか、同欲共苦、共存共榮等の言葉とは縁の遠い味気ないもののみが残つて、ましてや「和」チームワーク、融和一心、研究練磨等の心情の醸し出されない事になつてしまつてはないだろうか。心が固く閉ざれていては、昔からのいい習わしの「目は口程にものを云い」といふ様な情緒的なニュアンスを持った心の現れも出て来る筈もなく、相手を睨もつていては、そこには自然に微笑を仰いで挨拶を交わすというムードも出て来なく、前以ていい意味の入念な対話をして置かねばならない事が欠けていては、万事うまく行く筈もないであらう。大変危険な重大な事である。

道と詩精神

今度町内に吾が国で第一号ともいふべき特別養護老人ホームが設立された。設立者は花田更生翁だが、翁が五十年に亘るとする社会福祉事業の中、老人福祉への最終最高の事業として、老人の楽園、「福祉の里」の建設を長年夢に迄描いておられた。その情熱と至誠が笹川良一先生の心に触れ、融け合つて、それは実に尊い事業なので、喜んで力を添え様との思召から、今現実にあたかも桜花爛漫の里に、瀟洒でしかも堂々と胸を張つて今吾々の目の前に毅然と、そして和楽のムードを漂わして建立された。

両巨頭の心の通じ合い、之に福祉の里の理想に向つていている人間福祉の本質に対する町民の協力、建設委員等の献身、町民の理解が無かつたならば、第一期の緒にも着けなかつたかも知れない。

笹川先生は「道」を極められた方である。水の哲学とも謂える水を座右の銘とされ、又それを訓えとされている。その五項の中から紙数の都合で敢て無礼の儀の御許しを乞ひ、その一、二を摘録させて頂けば、

○常に自己の進路を求めてやまざるは水なり。
○如何なる障害をも克服する勇猛心と、よく方円の器に従う和合性とを兼ね備えるは水なり。

その他どの項にも感銘して心に残るものばかりである。

福祉の里の一環、第一期工事として建造された「恵の家」の自動扉を快く踏み入れば、左側の壁に横四米縦一・六米の大壁画が先ず老人の第一印象として心とまさせてくれるであろう。之は詩精神豊かな岡垣中学校美術部生徒七人が老人養護の心を籠めて、千々和正毅先生の指導のもとに見事描き上げた大作である。画面一杯に菜の花、きく科の多年草野薔等々が撩乱と咲き、揚げ羽の大蝶、蜜蜂の群を思ふまゝに飛び舞わせ、こゝに、

は入られる老人に先ず悲の響を一辺に払いのけるに大きな役割を果して呉れる事を借じている。それにつけても、私はこの純粹で無垢な生徒の詩精神と、優れた俳人山頭火の詩精神とが全く共通である事をすぐ感じとつた。山頭火の短句を借りて掲げれば

○身のまわり草だらけみんな咲いている。
○草を咲かせてそして蝶々をあそばせて。

○うれしいとも悲しいことも草しげる。
○いつでも死ぬる草が咲いたり実ったり。

(一九七二、三、三一記 木原 栄一)

青年体育大会

時代の変遷で殆んどが勤めに出席青年団に加入する人が少なくなったので、長年続いてきた青年体育大会を、町民体育祭で記録をとり廃止していたが、自分の体力をたしかめるため、体力づくりの気運をつくるため、青年の潑刺たる意気を示すため、青年の人間関係をよくするため第一回青年体育大会を再開する。

三月二十一日九時三十分岡垣中学校で実施したが、当日は晴天に恵まれ、午前中に百米、五千米、むかで競走等記録とりや対抗競技午後は八チームで四時半まで男女混成のバレーボール試合で汗を流す。

参加者は百五十名位で、町青年団に加入していない所の参加が少なかったが、東山田の大野体育委員も審判にきてくれたし、海老津区は天幕を張って参加。

- 成績
- | | | | |
|------|-----|----|------|
| 一位 | 糠塚 | 河野 | 一二秒八 |
| 二位 | 波津 | 宮内 | 一三、五 |
| 三位 | 糠塚 | 旗生 | 一三、九 |
| 千五百米 | | | |
| 一位 | 糠塚 | 後藤 | 五分三六 |
| 二位 | 海老津 | 松本 | 五、三八 |
| 三位 | 県職 | 鬼塚 | 五、四四 |
- 五千米

- | | | | |
|----|----|-------|-------|
| 一位 | 岡中 | 野田 | 一九分三〇 |
| 二位 | 糠塚 | 入江 | 一九、四三 |
| 三位 | 糠塚 | 岩永 | |
| | | 二〇、五二 | |
| 四 | 〃 | 入江 | |
| | | 二〇、五七 | |

- 走巾跳
- | | | | |
|----|------|------|--|
| 一位 | 吉野ヶ丘 | | |
| | 武野 | 五米九六 | |
| 二位 | 岡中 | | |
| | 宮本 | 五米六〇 | |
| 三。 | 波津 | | |
| | 中村 | 五、五五 | |

- 砲丸投
- | | | | |
|----|-----|-------|--|
| 一位 | 糠塚 | | |
| | 入江 | 一一米三五 | |
| 二 | 〃 | | |
| | 上部 | 九米四六 | |
| 三 | 上高倉 | | |
| | 安部 | 九、三五 | |



青年体育大会

- バレーボール
- | | | |
|----|-------|--------|
| 一位 | 岡中チーム | (オープン) |
| 二位 | 元松原 | |
| 三位 | 波津 | |
- (公民館)

体力づくり (4)

体力とは

人間の力は筋力ともいい、筋肉が収縮するときに出る。人間には三〇八の骨があり、それに六三九の筋肉がついているので、いかなる運動ができる。

その筋力は筋肉の横断面積に比例するので、筋肉が太くなると筋力もそれだけ強くなる。しかも一般的には、自分の体重の四〇〜五〇%が筋肉で、その筋肉が力を出すのだから体格差が体力差になるといわれる。例えば五十歳の体重のある人は、二十歳〜二十五歳の体重のある人は、体重の人は二八歳〜三五歳が筋肉その筋肉が力を出すのだから、筋



神水	昭夫	二七	一七九	九九
ヘーシ	ンク	三〇	一九八	一一八

肉の多い方が力が強いのはごく当たりまえ。
東京オリンピックの柔道の試合で神永昭夫選手がオランダのヘーシンクに敗れたのも、結局は体力差といわれる。

が体力とは腕角力が強いとか、体が大きいとかだけでは無い。内臓機能が丈夫で疲れないとか、同じことをしても疲労回復が早いとか、持久力があり、ねんばりがきき、頑張りのきくことの方が大切である。

体力とは、人間が活動していくために必要な身体的能力のことだが、二つの面がある。

一つは行動体力(運動能力)で積

極的に自分の体を動かして仕事をしきる能力のこと。

行動体力は、行動を起す力(筋力)、行動をいつまでも長続きさせる力(持久力)、行動を統御し調整する力(調整力)の三つが基本になっている。

このうちの調整力は、一度覚えることと忘れないものである。子供のとき覚えた水泳は十年たっても泳げる。自転車でもスケートでも同じで、調整力は永久性がある。

これに比べ筋力や持久力は、トレーニングをすると伸びるが、しないと逆もどりをする特徴をもっている。

他の一つは抵抗力(防衛体力)といい、健康を害するような外的原因(ストレス)に対処できる能力である。

例えば暑さとか寒さはストレスで暑さには皮膚の血管が収縮しふる。細菌やウイルスが体内に入ったら白血球がくい殺すなど、外部からのストレスをはね返して生きていく力を持っている。それが防衛体力—抵抗力である。

この二つを合わせたものが体力で、「自分は風邪はひかないから体力がある」とはいえない。これは抵抗力はあるが、行動力があるかどうかは分らない。

人間はただ生きているだけでなく、元気に、仕事に精を出し、社会のため、家庭のため働かねばならない。それにはどうしても体力がいる。(公民館)

サボテンの育て方

▲ 用土
川砂六〇、腐葉土三〇、カキガラ一〇

▲ 肥料

一年に一、二回植えかえを前提に、追肥はしない。鉢の底によく発酵した鶏糞を少し入れると効果がある。

▲ 植え方

鉢植えのサボテンを買ったら、まずぬいてみる。そして自分で作った用土を鉢の底に、山型に入れ、それにサボテンの根を広げ、用土をかぶせる。

▲ 移植のやり方

生長がおそいので追肥は殆んどしないが、早春に一回か、夏の終りに二回植えかえる。移植のとき、根がくさっていたら切りとり、切り口を二三日陰干ししたあと植えこむ。

▲ 水の与え方

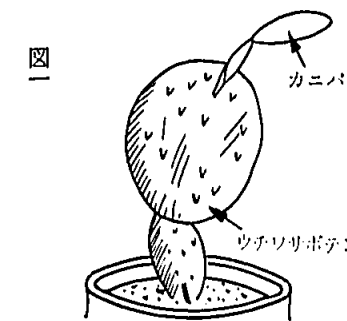
水の与え方は、サボテン栽培のもっとも大事なポイント。サボテンで水分や養分を吸収するのは、主根や支根の先端にでる細根。この細根は乾燥には弱く、鉢底までからからにわかすと、折角のびた細根も枯れてしまう。生長期には根先を枯らさないよう水をやらねば。

一方過湿にも弱く、いつもじくじくしていたら根腐れをおこして場合によっては全部腐れてしまうこともある。

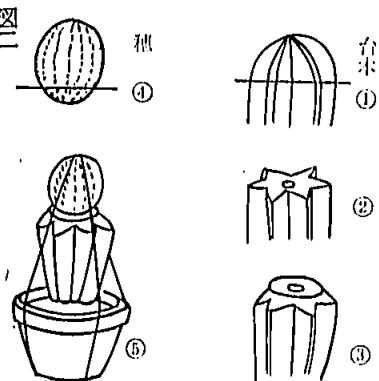
水はたっぷり鉢底にとどくまでやり、くみおきの水はやめ、きれいな水をやる。時刻は早朝か夕方。冬は晴天の午前中。

ふやし方

▲ 子とり、さし木、葉さし



図一



図二

枝を切ってさし木、子のできるものはそれをさす。又適當なところから切つてさす。その場合切り口を四、五日乾燥させてからさし木する。

▲ つぎ木

生長のおそいものを早く、或いは根の弱いものをらくに育てるためにする。

一、割りつき

台木に切れこみを入れ、さしこむ部分の表皮を薄くそぎ落としてさしこむ。(図一)

二、乗せつき(図二)

台木の上から一、二糎の部分を一気に切る(図)

切り口のまわりを斜めにそぎ落とし、切り口の中央がくぼむのを防ぐ(図)

つき穂を切り④、両方を重ね、鉢ごと糸でしばる⑤糸は三〜四日後はずす。

▲ つぎ木で注意すること。

穂と台木との活着面は、組織をつぶさないようよく切れる薄刃のナイフで切る。切り口がかわかないうちに手早く合わせる。糸は軽く押えて動かない程度で、強く押えない。つき木後数日は切り口に水をかけない。

時期はいつでもよく、早春がよいし、晴天の午前中がよい。

(公民館)



岡垣の山岳(2)

◎ 戸田山

戸切区の西南にあり、二六七米頂上で宗像と界する。

大正八年来の海老津炭礦で水は濁っていたが、「神地の水は清し」で、麓の里に非常に美しい清冽な水を供給し、かしわ原、畑、男有木村、百合野の飲料水をまかなっている。

道賀町の方では「戸田山に雲がかかると雨が降る」と関心をもってた。(資料提供 石田義麿氏)

◎ 金毘羅山

海老津駅の上にあり、一四〇米頂上に崇徳天皇、葦原醜男をまつた白峰神社がある。讃岐国金毘羅神社を請し、普通この山を金毘羅山という。

一番下に文化七年四月(今から百六十年前)建てられ「金毘羅」と、中段に明治三十七年八年戦勝記念に建てられ「金刀比羅神社」、上段に昭和十年一月建てられ「金刀比羅神社」と額の上った鳥居が建っている。

金毘羅信仰

香川県琴平町の金刀比羅宮を中



現と権現の言葉が出たので、

▲ 権現とは、かりに現われるという意で、

平安時代、仏は人々を救うため、種々の神に姿を変えて現われたものだとする本地垂迹説が説かれ、仏教と神道の割合が行なわれた。

これで熊野権現、春日権現、蔵王権現などの権現号が神社につけられた。

仏寺の様式をとり入れた神社建築を権現造という。

山 戸田 中央

上畑の南にあり、御鹿倉山、葛ヶ岳、羅山、羅嶽、岳山、宗像山、赤馬山といろいろ呼び名がある。標高三六九米。

◎ 城山

筑前国続風土記には「山上に城跡がある。大宮司六十五代氏俊がここに城をつくって住む。その後は廢城となる」と

(宗像氏俊は足利義教の時代)

宗像四郎氏貞は山口で生れ鍋舂丸といったが、大内義隆に叛逆した陶晴賢のはからいで、七才とき、天文二十年九月十二日(一五五一年)川中島の戦いの二年前(宗像に下り、白山の城に入る。その翌天文二十一年大宮司の職に

権 現

前回孔大寺権現、今回金毘羅権

つき、白山城に在城していたが、永禄五年(一五六二年)桶狭間の戦から二年後、白山の城をこの羅が岳城に移り住み、ここを平常の住み家にする。この時葛が嶽の名を羅山に改名する。

宗像神社祭礼の時は、本社の後の御内という宅にしばらく留まり、神事をつとめ又この城に帰った。

氏貞は宗像大宮司の職を三十四年間つとめ、天正十三年四月六日病死する。年四十二才。男子がなく家は絶えた。乱世のことだからお家騒動など異変のおこることをおそれ、家臣はその死をかくし翌年披露したとか。

豊臣秀吉が島津征伐のため筑紫に下り、島津が降参したのでその船りにこの城に入られた。この時小早川隆景に筑前国をやられたがこの城は要塞堅固だから来春までこわせと命ぜられる。そのため、翌天正十六年城をくずしてしまふ。

「城跡一反ばかり、大手口南に向う。東二の丸二反、水落の谷という所あり。三の丸白岩水谷という。その他丸所々にあり。木丸より西にも曲輪あり」と書かれて

いるが、すぐ攻め登れないよう頂上より東南の稜線に四木、北西の尾根に三木の大きな空堀が掘られ四百年たった今は大部埋っているが、今でも残っている。又昔は「林茂り狼多く住む」と書いている

(長畑)